

法人名 特定非営利活動法人NPO埼玉ネット

事業計画書

事業名	避難所運営訓練及びNPO連携構築事業
枠の種類	ネーミング事業（損害保険ジャパン㈱ 防災・地域安全支援事業）
1. 事業の目的	大規模災害に際して、地域の安全・安心を図る防災拠点における避難所運営及びその運営をサポートするNPOと地縁団体との連携構築を図り、SDGs「誰ひとり取り残すことなく」の精神を共有し、地域の受援力の強化を図る。
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>これまでの活動・課題</p> <p>① 近年、大規模災害が多発しており、改築なったさいたま市北区「日進2丁目自治会館」の災害時における避難所運営について相談が寄せられている。また、広く自治会員を巻き込み、「自らの命は自ら守る」意識の醸成及び様々な災害現場で支援活動の経験が豊富なNPOの経験を共有し災害弱者に寄り添う避難所運営が求められている。</p> <p>②日進地区では、災害支援、大宮日進七夕まつり等でNPO、商店会及び自治会の連携が進んでおり、NPOの持つ専門性ある災害支援のノウハウが活用できる。</p> <p>③また、最近では外国人の住民が増えている。災害時には弱者となりやすいそうした住民に対する対応も考える必要がある。</p> <p>④一方、阪神淡路大震災時に活動した市民団体の方々も高齢になっておりその貴重な経験を聞き取り、伝えることは我々の責務である。</p> <p>⑤こうした経験で培ったノウハウは県内のみならず、他の地域にも波及できるものとする。</p>
3. 具体的な事業内容	<p>1) 避難所運営セミナー・ワークショップ</p> <p>① 趣旨 自主的な避難所運営ができるようになるためのセミナーおよび訓練（ワークショップ）</p> <p>② 時期 11月予定（1日間）</p> <p>③ 対象者 住民、自治会員、商店会員</p> <p>④ 場所 日進2丁目自治会館ホール</p> <p>⑤ 参加見込み人数 30名</p> <p>⑥ 外部協力者（講師として協力）市民キャビネット災害支援部会、立正大学地球環境科学部環境システム学科、一般社団法人協働型災害訓練</p> <p>2) 連携構築に関する調査</p> <p>① 趣旨 阪神淡路大震災、東日本大震災及び以降の災害時におけるNPO連携災害支援活動の経験を調査・整理して、まとめる。</p> <p>② 時期 7月以降10月まで</p> <p>③ 対象 阪神淡路大震災時に活動した市民団体、市民キャビネット</p>

	<p>ト災害支援部会</p> <p>④ 方法 取材</p> <p>⑤ 結果とりまとめ 10月末日までに完了、印刷製本</p> <p>⑥ 発表方法・時期 報告書 10月完成 (32ページ、1,000部予定)</p> <p>⑦ 11月のセミナー、2月の協働型災害訓練 in 杉戸での無料配布</p> <p>⑧ 協力予定者 市民キャビネット災害支援部会、編集者石山僕(作家)</p>																	
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>○事業のスケジュール</p> <p>1)避難所運営セミナー・訓練</p> <p>2)連携構築に関する調査</p> <table border="1" data-bbox="512 600 1366 1167"> <thead> <tr> <th>時 期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td rowspan="2">↑ 調査・取材 ↓</td> </tr> <tr> <td>8月</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>結果とりまとめ 冊子「市民の災害支援活動の歩みとNPO連携」(仮称)の印刷製本</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>避難所運営セミナー・ワークショップ実施、冊子の配布</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>アンケート取りまとめ</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>協働型災害訓練 in 杉戸での配布</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チラシ (5,000枚) については、日進2丁目自治会回覧時に全戸配布及び市民センターに郵送する。 大宮日進七夕まつりに参加し、実行委員会・各イベント会場で、配布して、協力を要請する。 ※本年度七夕まつりは中止だが役員会は開催。 ●市民キャビネット災害支援部会メールマガジン (2,500アドレス) でも広報して参加を呼び掛ける。 ●調査事業の成果物は、避難所運営セミナー・訓練、協働型災害訓練 in 杉戸等で配布する。 	時 期		7月	↑ 調査・取材 ↓	8月	9月	結果とりまとめ 冊子「市民の災害支援活動の歩みとNPO連携」(仮称)の印刷製本	10月		11月	避難所運営セミナー・ワークショップ実施、冊子の配布	12月	アンケート取りまとめ	1月		2月	協働型災害訓練 in 杉戸での配布
時 期																		
7月	↑ 調査・取材 ↓																	
8月																		
9月	結果とりまとめ 冊子「市民の災害支援活動の歩みとNPO連携」(仮称)の印刷製本																	
10月																		
11月	避難所運営セミナー・ワークショップ実施、冊子の配布																	
12月	アンケート取りまとめ																	
1月																		
2月	協働型災害訓練 in 杉戸での配布																	
<p>5. 個々の事業の実施により達成したい成果の具体的な内容</p>	<p>1) 避難所運営セミナー・訓練</p> <p>①参加人数：30名</p> <p>②アンケート結果：参加者の満足度80%以上</p> <p>④ 成果：ワークショップに参加することにより、一部の役員だけでなく一般の市民の方々が地域の防災に強く関心を持ち、自主的に避難所を運営できるノウハウを身に着けること、「自らの命は自ら守る」意識の醸成を目指す。</p>																	

	<p>2) 連携構築に関する調査</p> <p>①冊子「市民の災害支援活動の歩みとNPO連携」(仮称)としてまとめる。</p> <p>②11月の避難所運営セミナー・訓練、2月の杉戸での訓練で配布</p> <p>③今後、同様のイベントや県内の防災関係機関に配布</p>
<p>6. 事業の実施体制</p>	<p>総括責任者 代表理事 松尾 道夫</p> <p>連絡責任者 理事 中川 龍示</p> <p>現場責任者 小山田 織音</p> <p>経理担当者 理事 中川 龍示</p> <p>広報担当者 安藤 大輔</p>
<p>7. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<p>1) 避難所運営セミナー・訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度 映画会「浪江消防団物語:無念」及び講演で30名参加(自主事業) ・2020年度 本事業の実施 ・2021年度以降 成果物を活用したセミナー・訓練(自主事業)を各地で開催。 <p>2) 連携構築に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度国土交通省「広域的地域間共助」事業(杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会)における協働型災害訓練を過去7回実施してきた。 ・今後、当事業で作成した冊子「市民の災害支援活動の歩みとNPO連携」(仮称)を全国(埼玉、東京、愛知、佐賀等予定)で開催される協働型災害訓練等で活用し、来るべき大規模災害に備える。
<p>8. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<p>2013年3月、日進親和会(商店会)の誘致を受け、本会本部を日進に移転して、商店会、自治会とNPOとの協働を進めてきた。この間、東日本大震災復興活動にも協働して取り組んできた。</p> <p>今回、行政、地縁団体、研究者・専門家と専門性があるNPOの協働事業として実施することで、先駆的、モデル事業と位置付けられ、県内のみならず、他の地域にも波及するものと考えます。</p> <p>立正大学地球環境科学部環境システム学科、東京大学DMTC、防災科研等の研究者の協力を得ている。</p>

